



第2章

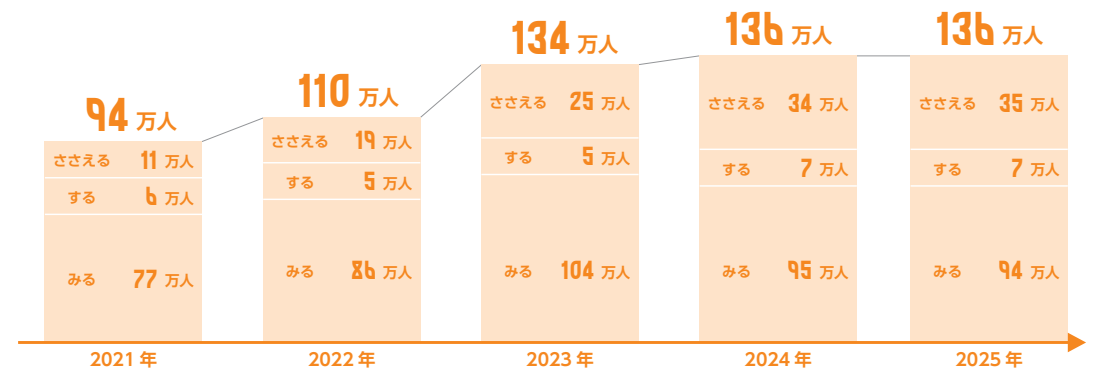
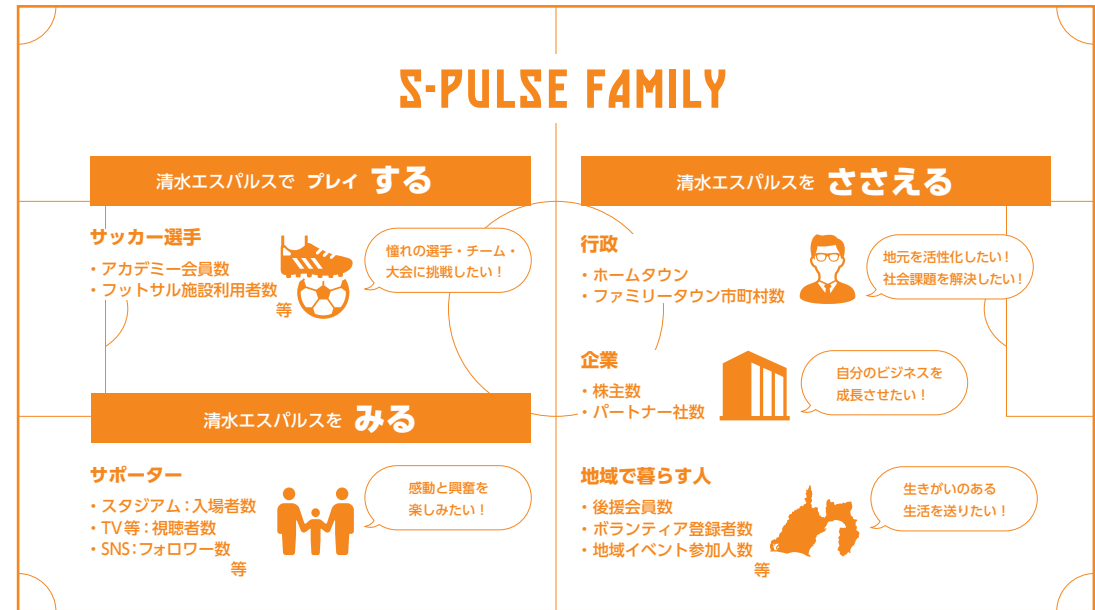
ミッション実現のための歩み

エスパルスのサステナビリティ活動 基本方針

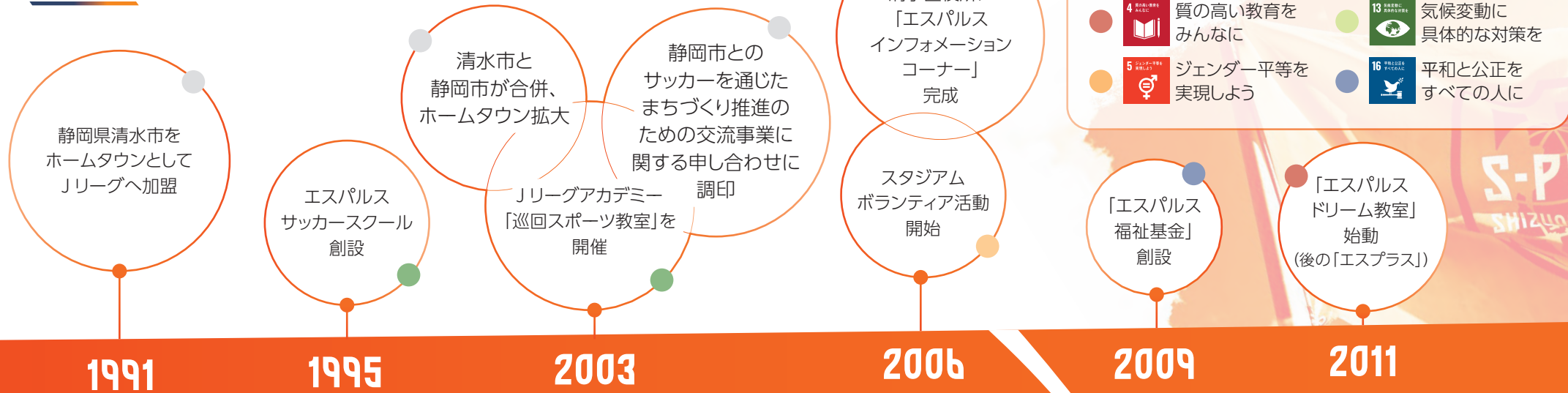


エスパルスが持つ強み

エスパルスの3つの強み



サステナビリティ活動これまでの歩み

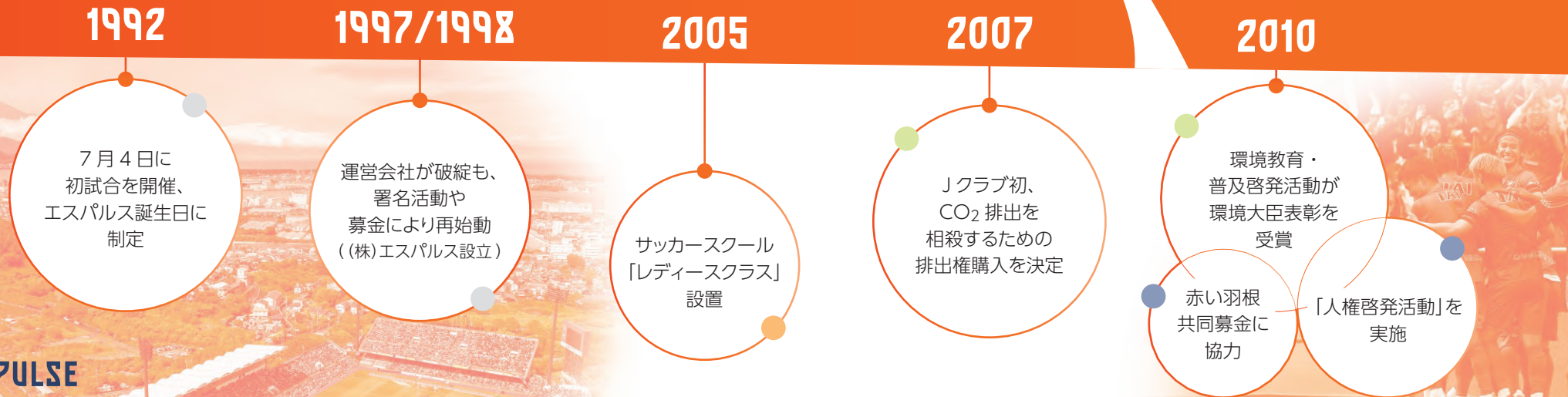


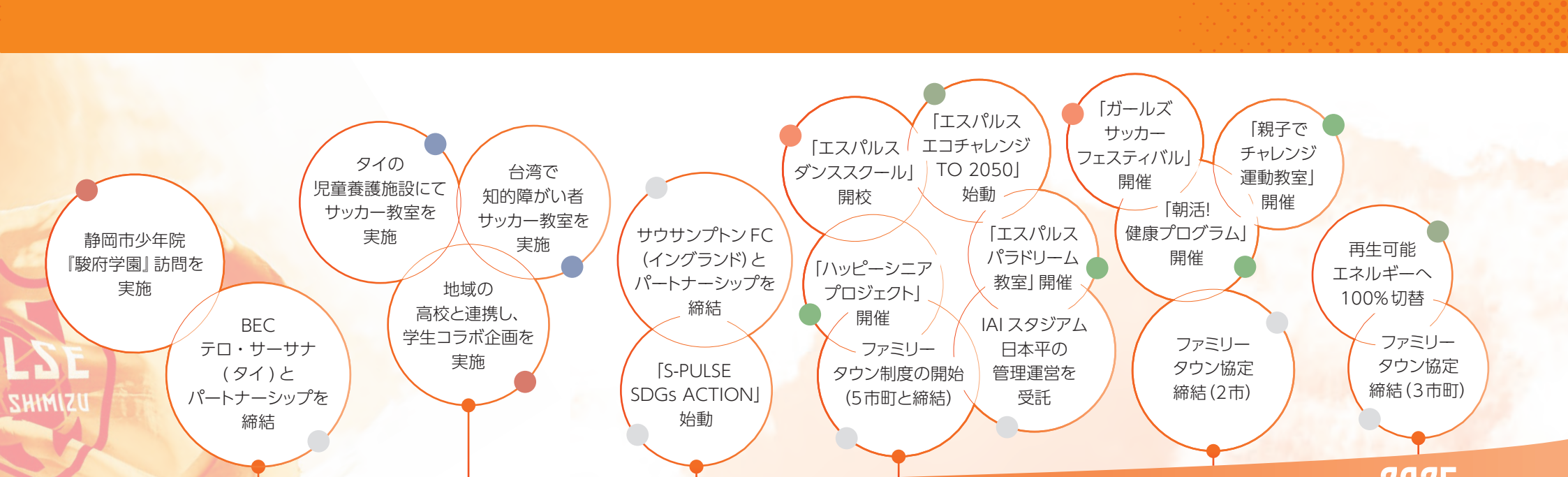
● クラブの重要なマイルストーン(地方自治体との提携など)

- 3 3. 健康と福祉を
- 4 4. 質の高い教育をみんなに
- 5 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 11 11. 住み続けられるまちづくりを
- 13 13. 気候変動に具体的な対策を
- 16 16. 平和と公正をすべての人に

地域密着の基盤づくり

地域住民





静岡市少年院
『駿府学園』訪問を
実施

タイの
児童養護施設にて
サッカー教室を
実施

台湾で
知的障がい者
サッカー教室を
実施

BEC
テロ・サーサナ
(タイ)と
パートナーシップを
締結

地域の
高校と連携し、
学生コラボ企画を
実施

サウサンプトンFC
(イングランド)と
パートナーシップを
締結

『S-PULSE
SDGs ACTION』
始動

『エスパルス
ダンススクール』
開校

『エスパルス
エコチャレンジ
TO 2050』
始動

『ガールズ
サッカー
フェスティバル』
開催

『親子で
チャレンジ
運動教室』
開催

『ハッピーシニア
プロジェクト』
開催

『エスパルス
パラドリーム
教室』開催

『朝活!
健康プログラム』
開催

再生可能
エネルギーへ
100%切替

ファミリー
タウン制度の開始
(5市町と締結)

IAI スタジアム
日本平の
管理運営を
受託

ファミリー
タウン協定
締結(2市)

ファミリー
タウン協定
締結(3市町)

2013

2017

2019

2021

2023

2025

参加型の活動の拡大

活動範囲の更なる拡大・ 先進的な取り組みへの挑戦

2012

2016

2018

2020

2022

2024

2026

国立大学法人
静岡大学と
包括連携協定を
締結

『JFA
なでしこひろば』
開催

Jリーグ
社会連携活動
『シャレン!』
始動

静岡市
シェアサイクル
『PULCLE』に
ブランド協力

ファミリー
タウン協定
締結(1市)

リアル・クラブ・
デポルティーボ・
マヨルカ S.A.D.
(スペイン) と
パートナーシップを
締結

ホームタウン・
ファミリー
タウン選手
PR チーム始動

ファミリー
タウン協定
締結(1市)

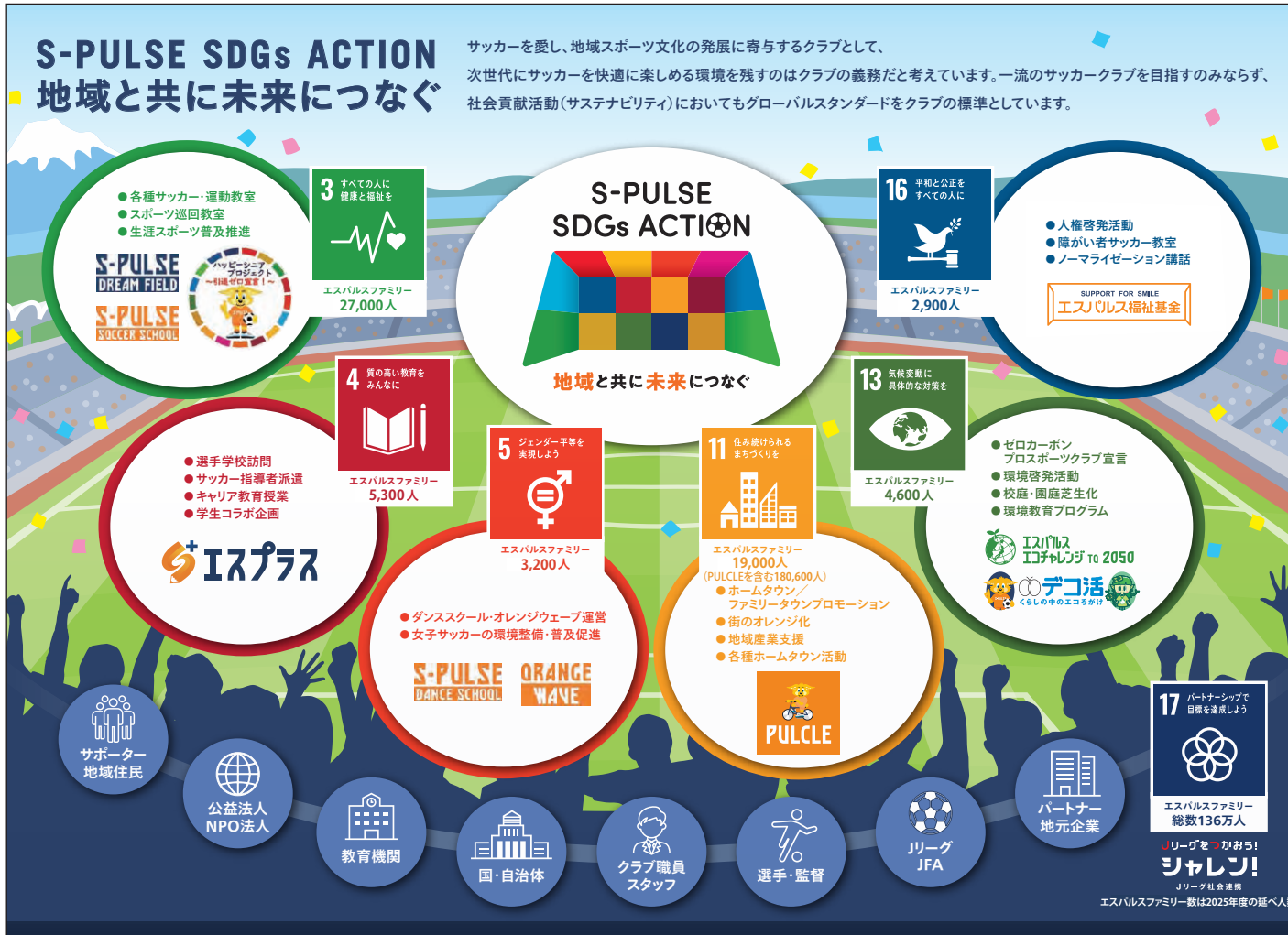
サッカースクール
『ガールズクラス』
設置

防災
プロジェクト
『ソナエル東海』
始動

次世代
育成プロジェクト
『エスプラス』
始動

明治安

サステナビリティ活動〈SDGs ACTION〉が 取り組む7つのテーマ



7つの優先 SDGs 策定フロー

策定フロー

2019年にマテリアリティ分析にて優先的に取り組むSDGsを7つ選定。Jリーグクラブ初、ロゴ・キャッチフレーズを策定しました。

① 指標の設定

重要な社会課題として国連サミットにて全会一致で採択された持続可能な開発目標「SDGs」を使用。

② ステークホルダーからの期待の評価

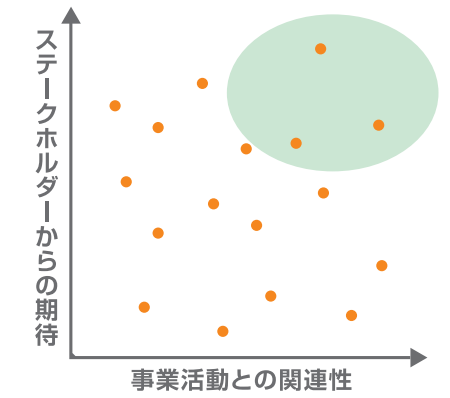
「ステークホルダーからの期待」として、16名の方にインタビューを行い、エスパルスが取り組むべき社会課題を抽出し優先度を評価。

③ 事業活動との関連性の評価

「エスパルスの事業活動との関連性」を事業の経済的・環境的・社会的影響の重要性で評価。社員アンケートの結果も反映。

④ 重要課題の特定

「ステークホルダーからの期待」「事業活動との関連性」の2軸で評価し、エスパルスにおける重点課題を特定。



⑤ 優先 SDGs の決定

本部長以上のマネジメントボード及び外部識者との議論を経てエスパルスとして優先的に取り組むSDGsを決定。

気候アクションへ込めた想い

～次世代にサッカーを快適に楽しめる環境を引き継いでいくために～

今、地球温暖化により様々な気象の変化が起きています。スポーツの世界でも、夏場の熱中症を防ぐための試合時間の変更や、急な雷雨による大会の中止が増加するなど、気候変動による具体的な影響が表れており、サッカーを取り巻く環境が脅かされ始めています。

エスパルスは、サッカーを愛し、地域スポーツ文化の発展に寄与するクラブとして、2007年から、『地球にやさしいサッカークラブであるために。次世代に快適にサッカーのできる環境を引き継いでいくために。』をコンセプトとした「エスパルス エコチャレンジ」を掲げ、様々な気候アクションに取り組んでまいりました。また、SDGs ACTIONにおいて優先的に取り組む7つのテーマにおいても、社会活動・経済活動の基盤となる「気候変動」を最優先テーマとして捉えています。そのような背景も踏まえ、今回のインパクトレポート作成にあたっては、全ての活動の基盤となる「気候変動」にフォーカスをあて、中長期的なロードマップを作成いたしました。今後も、策定したロードマップに沿って先進的な取り組みにチャレンジすることにより、次世代のサッカー環境を守っていきたくと考えています。



気候変動：エスパルスエコチャレンジ TO 2050



**地球にやさしいサッカークラブであるために。
次世代に快適にサッカーのできる環境を
引き継いでいくために。**

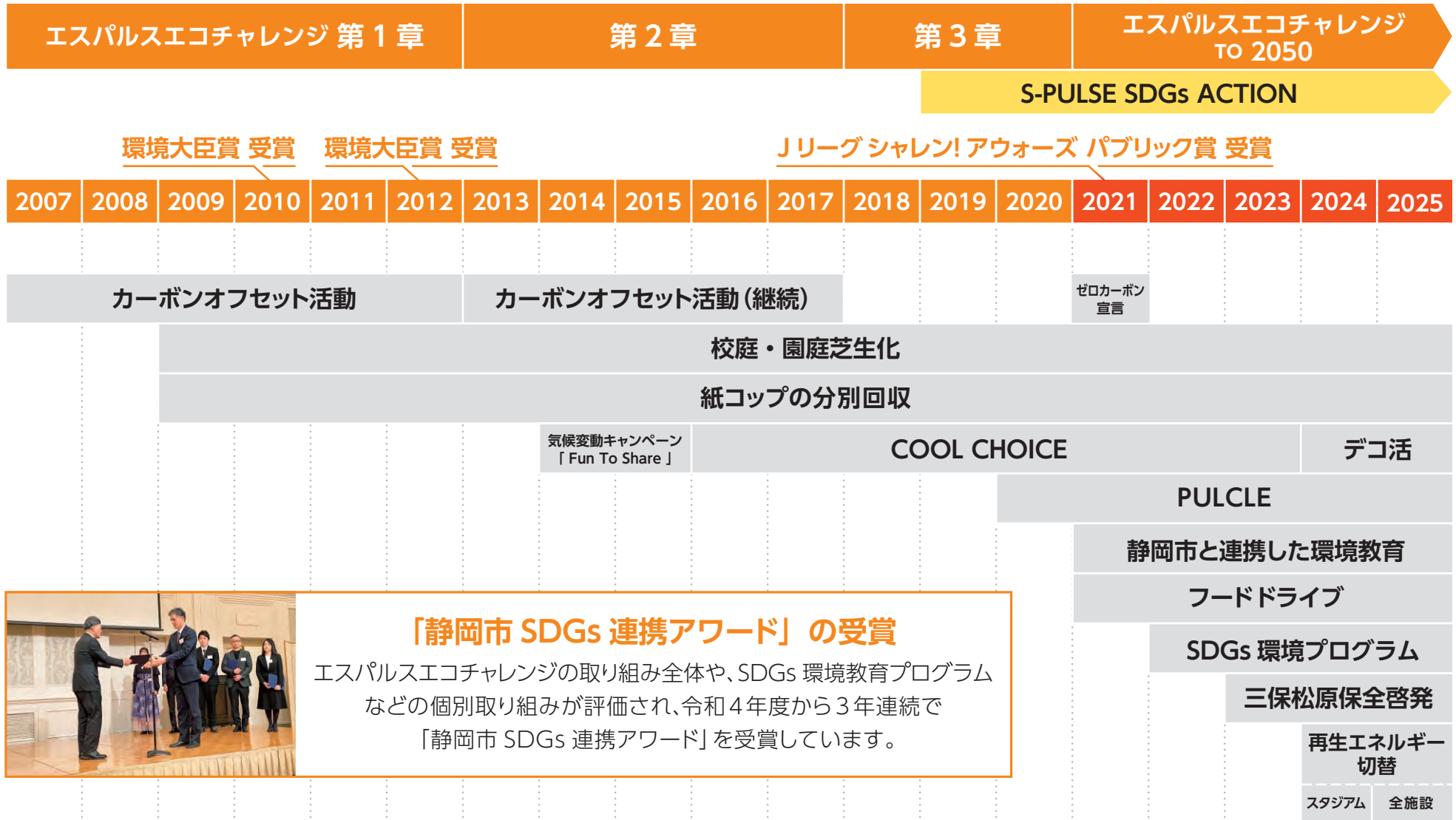
エスパルスは2007年より『地球にやさしいサッカークラブであるために。次世代に快適にサッカーのできる環境を引き継いでいくために。』をコンセプトに掲げ、クラブのサステナビリティの一つとして『エスパルスエコチャレンジ』を継続的に実施しています。

(協力：静岡大学、静岡県地球温暖化防止活動推進センター)

2021年11月、2050年までの脱炭素社会の実現をはじめ、SDGs達成への貢献、そしてこれまでクラブが継続的に取り組んできた「エスパルスエコチャレンジ」のさらなる充実を目指し、SDGs推進クラブとしてスポーツの力で持続可能な社会の実現に向け、地域とともに力強く歩を進めていく意志を持ち、清水エスパルスは『ゼロカーボンプロスポーツクラブ宣言』を表明しました。

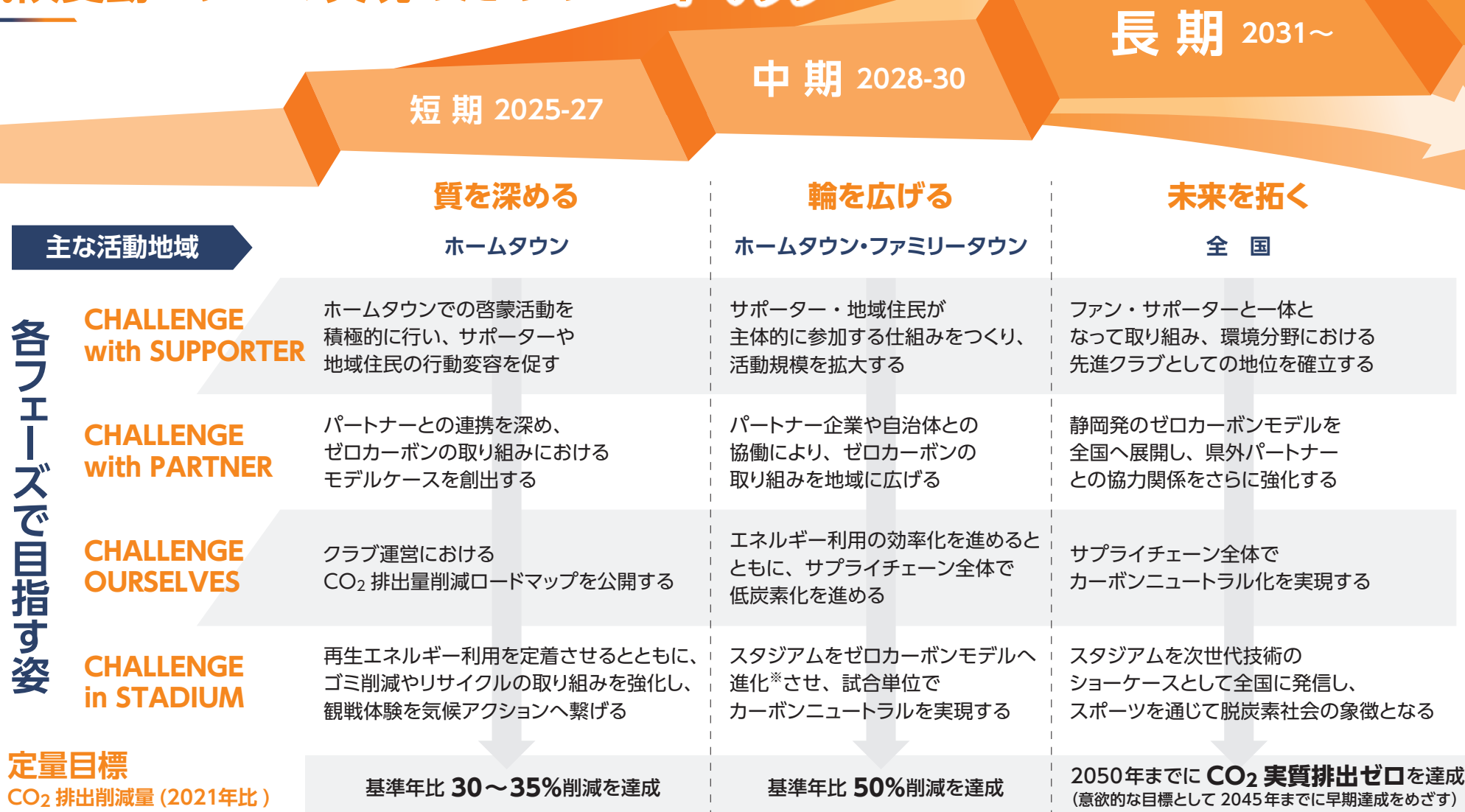
サッカーを愛し、地域スポーツ文化の発展に寄与するクラブとして、次世代にサッカーを快適に楽しめる環境を残すことはクラブの使命であり、さらに地球に貢献できることは、クラブの喜びと考えております。一流のサッカークラブを目指すのみならず、サステナビリティにおいてもグローバルスタンダードをクラブの標準とし、これからも様々な挑戦を続けてまいります。

気候変動：エスパルス エコチャレンジの歴史



「静岡市 SDGs 連携アワード」の受賞
 エスパルスエコチャレンジの取り組み全体や、SDGs 環境教育プログラムなどの個別取り組みが評価され、令和4年度から3年連続で「静岡市 SDGs 連携アワード」を受賞しています。

気候変動：テーマ実現のためのロードマップ



^{*} スタジアムを単なる再エネ利用の場から、排出量ゼロを目指す総合モデルに進化させること。
 (「試合開催時に発生する残余排出(例：飲食、移動、廃棄物)」のゼロ化に向けた取り組み)